

- 問1 894年に遣唐使の派遣が停止された理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため | 2. 遣隋使の派遣が始まったことで、中国との外交ルートが新しくなったため | 3. 白村江の戦いで唐の軍勢に敗北したことにより、国交が途絶えていたため | 4. 唐が滅亡し、新しく宋（北宋）が建国されたことで交流の必要がなくなったため |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
-
- 問2 平安時代に発達した建築様式である「寝殿造」について、その成立の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 室町時代に禅宗が広まったことで、精神修行に適した簡素で機能的な空間を追求して生まれた。 | 2. 遣唐使の停止によって大陸との交流が制限されるなか、日本の気候や貴族の好みに合わせた独自の文化として成立した。 | 3. 鎌倉時代に武士が力を持つようになり、実用性と機能性を重視した住居として全国に普及した。 | 4. 江戸時代に幕府が身分制度を確立した際、貴族の権威を示すために格式高い装飾を施した様式として考案された。 |
|--|---|--|--|
-
- 問3 平安時代中期に藤原道長や藤原頼通らが、長期にわたって強力な政治的権力を維持することができた理由として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地方の武士団を直接組織し、強力な軍勢力を背景にして朝廷へ圧力をかけたから。 | 2. 天皇の位を退いた後に上皇となって院政を行い、自ら開いた院庁から命令を出したから。 | 3. 外国との貿易を独占して莫大な財政的基盤を築き、経済力によって政治を動かしたから。 | 4. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子どもを次の天皇に即位させることで、継続的に外戚の立場を保ったから。 |
|--|---|---|---|
-
- 問4 平安時代後期、奥州藤原氏が平泉に中尊寺などの寺院群を建立した背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 前九年・後三年合戦による戦没者を弔い、浄土思想に基づく平和な社会を築くことを願ったため | 2. 平清盛が推進した日宋貿易に対抗し、東北独自の金輸出ルートを確立するための象徴としたため | 3. 聖武天皇の命により、東北地方の安定を図るための国分寺として建立されたため | 4. 源頼朝の軍勢による攻撃を阻止するため、要塞としての機能を持つ巨大な寺院を建設したため |
|--|--|---|---|
-
- 問5 藤原氏が、他の有力な貴族を排斥して政治の主導権を握るために用いた手法について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 仏教を厚く信仰し、東大寺などの巨大な寺院を建立することで、宗教的な権威を背景に政治的な決定を下した。 | 2. 武士の力を利用して平氏などのライバルを武力で圧倒し、天皇から政治を任される幕府という組織を確立した。 | 3. 自らの娘を天皇の后として嫁がせ、生まれた皇子を天皇に即位させることで、その祖父や叔父として政治に関与した。 | 4. 位を譲った後の天皇（上皇）が院庁を開き、天皇に代わって政治を行う体制を整えることで、既存の貴族に対抗した。 |
|---|---|--|--|
-
- 問6 七百九十四年に実施された平安京への遷都と、その時期に進められた政治改革の背景について説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 全国に国分寺や国分尼寺を建立することで、仏教の力によって国内の政情不安や疫病を鎮めようとした。 | 2. 大化の改新によって蘇我氏の影響力を排除し、唐の律令制度を本格的に導入して中央集権体制を確立しようとした。 | 3. 奈良の寺院勢力などの宗教勢力が政治に介入することを防ぎ、律令制に基づいた天皇の権威を回復しようとした。 | 4. 壬申の乱という大規模な内乱を経て即位し、新しい都で天皇の絶対的な権力を確立しようとした。 |
|--|---|--|---|
-
- 問7 平安時代の中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。この時代に、漢字を簡略化したり一部を用いたりして考案された、日本語の音を表記するための文字を何といいますか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 梵字 | 2. かな文字 | 3. 万葉仮名 | 4. 甲骨文字 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問8 摂関政治において、天皇が幼い時に政治を代行する役職と、天皇が成人した後にその補佐をしながら政治を司る役職の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|----------|----------|------------|
| 1. 太政大臣・征夷大將軍 | 2. 執権・連署 | 3. 摂政・関白 | 4. 内大臣・右大臣 |
|---------------|----------|----------|------------|
-
- 問9 歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため | 2. 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため | 3. 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため | 4. 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため |
|------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
-
- 問10 平安時代に、漢字を書き崩したり、その一部をとったりすることで工夫され、日本語の発音を書き表しやすくするために作られた文字を何といいますか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. ハングル | 2. アルファベット | 3. かな文字 | 4. 万葉仮名 |
|---------|------------|---------|---------|
-
- 問11 日宋貿易を推進した人物と、貿易の拠点となった港、および主な輸入品の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|------------------|
| 1. 源頼朝 — 敦賀 — 勘合 | 2. 北条時宗 — 博多 — 鉄砲 | 3. 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭 | 4. 足利義満 — 堺 — 銅銭 |
|------------------|-------------------|--------------------|------------------|
-
- 問12 平安時代において、藤原氏が行った摂関政治や平清盛による政治に共通する、権力を掌握するための手法として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 武力によって朝廷を制圧し、天皇を廃して自分自身が新しい天皇として即位することで、独裁的な政治を行う。 | 2. 仏教の力を利用して天皇の権威を否定し、有力な寺院と結びつくことで、僧侶を中心とした新しい政治体制を築く。 | 3. 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。 | 4. 日宋貿易を独占して得た経済力を背景に、地方の武士団を組織して、朝廷から独立した新しい政府を樹立する。 |
|---|---|--|---|
-
- 問13 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことも知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 | 2. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 | 3. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。 | 4. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため	遣唐使の停止には、大きく分けて2つの理由があります。一つは、唐国内で反乱が起きるなど国勢が衰えており、命を懸けて派遣しても得るものが少なくなっていたこと。もう一つは、東シナ海を渡る航海が依然として困難で、多くの犠牲者を出すほど危険だったことです。
問2	答え 2 遣唐使の停止によって大陸との交流が制限されるなか、日本の気候や貴族の好みに合わせた独自の文化として成立した。	894年に遣唐使が停止された後、それまでの中国文化を消化・吸収した上で、日本の風土や生活習慣に合わせた「国風文化」が形作られました。住居においても、中国風の堅苦しい形式から離れ、貴族の優雅な生活や日本の気候に適した「寝殿造」という独自の様式が生まれ、定着していきました。
問3	答え 4 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子どもを次の天皇に即位させることで、継続的に外戚の立場を保ったから。	藤原道長や頼通は、自身の娘を天皇のきさき（后）にし、生まれた子どもを天皇に立てる政治手段を徹底しました。これにより、常に天皇の母方の祖父などの立場（外戚）を維持し、摂政や関白として権力を振るい続けることができました。
問4	答え 1 前九年・後三年合戦による戦没者を弔い、浄土思想に基づく平和な社会を築くことを願ったため	奥州藤原氏の初代清衡は、自身の家族を失うほどの激しい戦乱（前九年合戦・後三年合戦）を経験しました。その惨劇を繰り返さないよう、すべての死者を平等に供養し、現世に仏の理想郷を実現しようとした。この「浄土思想」が平泉の文化形成の大きな背景となっています。
問5	答え 3 自らの娘を天皇の后として嫁がせ、生まれた皇子を天皇に即位させることで、その祖父や叔父として政治に関与した。	藤原氏は、天皇の母方の親戚である「外戚」となることで、皇室との結びつきを強固にしました。藤原道長の時期には、複数の娘を中宮（后）とすることで、三代の天皇にわたって外戚の地位を維持し、摂関政治の全盛期を築きました。これに対し、上皇が政治を行うのは「院政」であり、摂関政治とは区別されます。
問6	答え 3 奈良の寺院勢力などの宗教勢力が政治に介入することを防ぎ、律令制に基づいた天皇の権威を回復しようとした。	当時の天皇は、平城京の寺院勢力と政治が結びつきすぎていた弊害を重く見ていました。そこで、都を山背国の平安京に移すことでこれまでのしがらみを断ち、政治改革を推進しようしました。同時に、軍団の廃止（健児の導入）や勘解由使（かげゆし）の設置など、地方政治の腐敗を防ぐための具体的な改革も並行して行われました。
問7	答え 2 かな文字	平安時代、これまでの中国文化を十分に吸収した上で、日本独自の文化である国風文化が成立しました。漢字を崩して書いた「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」からなる「かな文字」が使われるようになったことで、日本人の繊細な感情や生活の様子を表現できるようになりました。
問8	答え 3 摂政・関白	藤原道長らによる摂関政治の名称は、天皇の代行を務める「摂政」と、成人後の補佐役である「関白」の二つの役職に由来します。道長は、平安時代中期にこれらを通じて権勢を誇り、有名な「この世をば…」の歌を詠むほどの全盛期を築きました。なお、武士の代表である征夷大将軍や、鎌倉幕府の執権などとは、任命される背景も権力の根拠も異なります。
問9	答え 1 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため	「勅撰」の「勅」は天皇の命令を意味します。古今和歌集は醍醐天皇の命により、紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑の4人が編纂者となってまとめられました。それまでの万葉集が私的な性格を持つのに対し、国家的な文化事業として位置づけられている点が大きな特徴です。
問10	答え 3 かな文字	平安時代には、それまで使われていた漢字を簡略化したり、一部を利用したりすることで、日本語の音を自由に表現できる文字が考案されました。これにより、日本独自の感情や情景を表現する国風文化が大きく発展しました。
問11	答え 3 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭	日宋貿易は、平氏の全盛期を築いた平清盛によって行われました。清盛は現在の神戸市にあたる大輪田泊を国際貿易港として整備し、宋から宋銭や陶磁器などを輸入しました。足利義満が関わったのは室町時代の日明貿易であり、鉄砲の伝来は戦国時代、勘合（符）は明との貿易で偽造を防ぐために使われた道具です。
問12	答え 3 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。	藤原氏や平清盛は、天皇との血縁関係を結ぶことで権力を維持しました。藤原道長は娘の彰子を一条天皇のきさきとし、その子が後一条天皇として即位することで外祖父（母方の祖父）となりました。同様に、平清盛も娘の徳子を高倉天皇に入内させ、その間に生まれた安徳天皇を即位させています。このように、天皇の母方の親戚である「外戚」という立場を利用して、政治的な主導権を確保する手法が取られました。
問13	答え 1 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武士として初めて政権の頂点に立つと、経済基盤を固めるために日宋貿易を推進しました。そのために、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築し、宋の大型船が停泊できるようにして、宋銭や陶磁器などの輸入を行いました。